

奈川地区の課題と整理



人口減少と どう向き合うか

- ・ 2005年（合併時） 1026人 350世帯
- ・ 2020年（11月現在） 650人 324世帯
- ・ 376人 26世帯

- ・ 園児 2人
- ・ 小学生 17人
- ・ 中学生 5人



年齢別人口構成（三区区分）

区 分	0～14歳	15～64歳	65歳以上
松本市	18.2%	59.0%	27.8%
奈川地区	5.1%	45.6%	49.3%

- ・ 高齢化率（65歳以上） 49.3%
 - ・ 後期高齢化率（75歳以上） 32.1%
- 共に松本市で最も高い数値

松本市の中で 最も「少子
高齢化」が進んでいる地区

将来ビジョンの策定と共有

- ・ 地域と有識者と行政による将来ビジョンの策定
- ・ 公共施設等の集約化と再整備
- ・ 地域資源の見直しと有効活用
- ・ 特色のある突出した施策

キャンプと蕎麦と温泉と+

地域の人が固有の資源や人材に誇りを持ち、自立的・自律的な「再生の力」が生まれ、継続させる仕組みをつくることが重要。

小さな商売であっても事業主が増える、後継者が戻ってくる、事業や地域づくりについて次々と新しいアイデアが生まれてくる、住民満足度が増すなど、地域づくりの観点、ひいては人間の幸福観から見た評価軸そのものを提案し、結果、稼ぐ力につながる。

